

担当 文化財・博物館課 文化財活用・博物館担当
内線 6982

目的

資料の収集、保管及び調査研究を行い、その活用を図るため、常設展示や特別展・企画展、多様な教育普及を実施する。
また、施設設備等を適切に維持管理し、安全で利用しやすい施設を提供する。

事業概要

寄附募集事業

1 県立博物館・美術館の管理運営費 381,873千円

(1) 歴史と民俗の博物館 92,314千円

人文系の総合博物館で、国宝の太刀・短刀をはじめとする文化財を展示し、様々な展覧会や普及事業を行っています。当館及び自然の博物館の建物は近代建築の巨匠・故前川國男氏による設計です。



歴史と民俗の博物館

(2) さきたま史跡の博物館 143,946千円

周囲には戦国時代の忍城水攻めで石田三成が本陣を構えた丸墓山古墳など9基の古墳からなる国指定特別史跡「埼玉古墳群」があり、国宝「金錯銘鉄剣」を収蔵しています。



さきたま史跡の博物館

(3) 嵐山史跡の博物館 6,017千円

鎌倉時代の武蔵武士・畠山重忠が居住していたといわれる国指定史跡「菅谷館跡」の中にある博物館です。比企地域の中世城館跡群のひとつとして、重忠の生きた時代から戦国時代までの歴史を知ることができます。



嵐山史跡の博物館



撮影：松本和幸

近代美術館

(4) 近代美術館 121,350千円

モネ、シャガール、ピカソなどの海外の巨匠から日本の現代作家まで、優れた美術作品をコレクションして展示しています。建物は建築家・故黒川紀章氏による設計で、中銀カプセルも公開しています。



自然の博物館

(5) 自然の博物館 18,246千円

秩父長瀬は「地質学発祥の地」とも呼ばれ、国の名勝・天然記念物「長瀬」のほど近くに立地しています。巨大な古代のサメ「カルカロドンメガロドン」をはじめ化石や鉱物、動物のはく製など展示しています。

県立博物館・美術館についてもっと知りたい方はこちらのQRコードから(YouTubeの紹介動画へ)

